

## 開催概要

### ■令和7年度第1回吹田市障害者福祉施設等整備補助事業者選定委員会

#### <日 時>

令和7年（2025年）7月1日（月）午前9時30分から午前10時30分

#### <場 所>

吹田市役所 高層棟3階  
災害対応オペレーションルーム

#### <出席委員>

5名

※ 5名中5名出席により、会議は成立。

#### <議 題>

令和7年度障害者福祉施設等整備補助事業者の選定方法及び審査基準等について

#### <会議要旨>

1 委員会開会

2 諮問

3 事務局から議題案件について説明

4 主な質疑応答・意見

##### A委員

審査基準の中の財務状況資金計画の中で、今年から基本財産が法人格共通になったとの説明であったが、基本財産がない法人格の場合は何を基準にしたらよいか。

##### 事務局

社会福祉法人と同じような基準で考えることを提案している。基本財産がないような株式会社は、補助金対象としては点数が低くつく想定をしている。

##### B委員

障がい者と障がい児の国庫補助ということで、法人は事前にお金の面や地域と調整し、市の

チェックも入り、その上で私たちが資料に基づいて選定していく。全国的に施設整備の国庫補助もそうだが、事業を新たに起こす、もしくは拡大をしていくときに、3年後、5年後、10年後に最近はいろんなことが公になる。特に様式8危機管理のところ、業務継続計画（BCP）が地域との関わりの中でどのような計画を立てていくのか、グループホームが地域推進の民生委員とグループホーム運営が適正に行われているかなど、チェック機能がなかった。障がい者の権利擁護、危機管理、苦情解決などが、なかなか内部だけでは難しくなっている。国庫補助を受けた後、施設がどう運営されているかを知りたい。利用者支援、職員の研修をどのように実施していくかを考えていかないと運営は難しい。また、物価高騰下で、建物等でランクを下げたものを作ると結局修繕費がかかるようになる。加算の部分では、重度の障害、医ケア者を受け入れるにはお金がかかる。医者、看護師、作業療法士（OT）、理学療法士（PT）言語聴覚士（ST）など、人の雇用も難しい。

#### C委員

過去に審査したところは気になっていた。審査した時は良いと思っても社会情勢の変化があるかもしれない、次の審査にも生かせるので、選定した事業所がどのような運営をしているのか、負担にならない程度で報告をいただきたい。

#### D委員

プレゼン後の審査で自分がつけた評価が、その事業所の運営に影響すると考えると負担に感じる。

#### E委員

審査の過程で出た疑問、意見を中心に何年後かに簡単にその後どうなっているかを報告することや法人のホームページで周知するなどをお願いしたい。国庫補助で役に立っていることを周知するのも大切。関係者だけが知っているのではなく、市民にも知ってもらうのも大事なこと。フォローアップ対策が必要。

#### 事務局

補助金を交付する中で、事業所がどういった運営をされているか分かるところもある。報告の方法を考える。点数をつけることの負担は、受け止めて考えていく。

#### B委員

グループホーム整備で、あらたに日中支援型のグループホームを立てるとなったときに、計画はあるか。

#### 事務局

数値目標はないが、重度化に対応していく文章を盛り込んでいる。自立支援協議会の方で日中支援型の手が上がった時の枠組みについて議論をしている。

## B委員

大阪府内で、日中支援型を検討する事業者があり、事前協議では前向きだったのに、上手く成立しなかった事例があったので聞いた。多くのグループホームが、利用者が日中支援を利用しないときの対応が弱点となっている。補助を申請されたときどう対応されるのか参考に聞いた。

## 5 答申

原案どおり了承する旨の答申を受けた。